

令和2年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	スマートライフ実現のためのAIシミュレーション			担当部局	内閣官房副長官補	作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	令和2年度	担当課室	新型コロナウイルス感染症対策推進室	参事官 小島 優	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)第3条 等			関係する 計画、通知等	-		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく観点から、AI等の技術を活用し様々なシミュレーション・分析を行い、新しい生活様式・スマートライフ導入を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、シミュレーションに必要なデータを収集し、データ連携基盤を構築した上で、飛沫拡散シミュレーションを通じた業種別感染拡大予防ガイドラインへの反映、ITを活用した早期感染拡大検知、これまでの感染拡大防止対策の効果分析等の研究開発領域において、AI等の技術を活用したシミュレーションを実施する。						
実施方法	委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-
		補正予算	-	-	-	1,438	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計	0	0	0	1,438	0	
	執行額	-	-	-	-	-	
執行率 (%)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-	-		
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	-	-				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)										
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標 本事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立に資すると考えられる施策を講じた場合の効果等についてシミュレーションを行い、感染拡大防止に配慮した新しい生活様式を促進するための事業である。新型コロナウイルス自体について未知の部分が多くあり、また、感染状況や社会経済活動の状況が時々刻々と変化するため、一意に定量的な成果目標、成果指標を設定することは困難である。			効果的な感染拡大防止策及び感染拡大防止に配慮した新しい生活様式の実現						
	代替目標		代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績		シミュレーションによる分析結果を新型コロナウイルス感染症対策に反映する	シミュレーション結果を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策の検討状況	実績	件	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	実施したシミュレーションのテーマ数			活動実績	件	-	-	-	-	
				当初見込み	件	-	-	10	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	X=シミュレーションに必要な経費/ Y=シミュレーションのテーマ数			単位当たり コスト	億円	-	-	-	1.4	
				計算式	X/Y	-	-	-	14.4億円/10件	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策												
		施策												
		測定指標	定量的指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
					実績値	-	-	-	-	-	-			
					目標値	-	-	-	-	-	-			
			定性的指標	目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)							
							-							
							-	施策の進捗状況(実績)						
		新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-									
			(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-				
				目標値	-	-	-	-	-	-				
			達成度	%	-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度					
			成果実績	-	-	-	-	-	-					
			目標値	-	-	-	-	-	-					
		達成度	%	-	-	-	-	-						
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係														

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立は社会全体の課題である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	新型コロナウイルス感染症の拡大は全国的な事象であり、国において対策を講ずることが適当である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	政策立案に当たって具体的な対策の効果をシミュレートすることは必要かつ適切な手段である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	

外部有識者の所見

-

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努めるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	-						
平成31年度							

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣官房
1,438百万円



民間事業者

スマートライフ実現のためのAI等を活用
したシミュレーション調査研究

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万円)